



平成29年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成29年10月26日

上場会社名 鳥居薬品株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4551 URL <http://www.torii.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高木 正一郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 山本 賢 (TEL) 03(3231)6811  
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月7日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第3四半期の業績(平成29年1月1日～平成29年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第3四半期	45,726	4.5	3,660	42.2	3,735	37.6	2,771	57.9
28年12月期第3四半期	43,768	△2.4	2,574	△26.3	2,713	△26.0	1,755	△24.7

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第3四半期	98 83	—
28年12月期第3四半期	62 04	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年12月期第3四半期	100,362	85,025	84.7
28年12月期	98,525	83,556	84.8

(参考) 自己資本 29年12月期第3四半期 85,016百万円 28年12月期 83,551百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	—	24 00	—	24 00	48 00
29年12月期	—	24 00	—		
29年12月期(予想)				24 00	48 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年12月期の業績予想(平成29年1月1日～平成29年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	63,100	4.8	5,000	30.9	5,100	27.5	3,800	33.8	135 48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※上記のほか、決算及び業績予想に関する参考情報を、別途「2017年12月期第3四半期決算 参考資料」に記載しております。

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

29年12月期3Q	28,800,000株	28年12月期	28,800,000株
29年12月期3Q	751,348株	28年12月期	751,125株
29年12月期3Q	28,048,772株	28年12月期3Q	28,299,174株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載しております業績見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、リスクや不確実な要素を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。したがって、実際の業績等は、様々な要素により、これらの業績見通し等とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果に関わらず、常に当社が、将来の見直しを見直すとは限りません。

なお、現時点において、実際の業績等に影響を与えうるリスクや不確実な要素としては、以下のような事項を挙げることができます。（かかるリスクや不確実な要素はこれらの事項に限定されるものではありません。）

- ◇ 医薬品医療機器法その他の法令又は規制の変化
- ◇ 研究開発の遅延又は中止
- ◇ 薬価の決定、改定
- ◇ 副作用の発現
- ◇ 製商品の供給停止、回収
- ◇ 訴訟の提起

業績予想については、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（4）業績予想などの将来予測情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績	2
(2) 財政状態	3
(3) 研究開発活動	3
(4) 業績予想などの将来予測情報	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(追加情報)	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績

当第3四半期累計期間の経営成績につきましては、以下のとおりです。

	平成28年12月期 第3四半期累計期間	平成29年12月期 第3四半期累計期間	増減額	増減率
売上高(百万円)	43,768	45,726	1,957	4.5%
営業利益(百万円)	2,574	3,660	1,085	42.2%
経常利益(百万円)	2,713	3,735	1,021	37.6%
四半期純利益(百万円)	1,755	2,771	1,016	57.9%

売上高は、新製品の早期市場浸透及び主力品の市場拡大に取り組んだ結果、販売数量が伸長し45,726百万円と前年同期に比べ1,957百万円(4.5%)増加しました。

各重点領域における主要な製品・商品の販売状況につきましては、以下のとおりです。

- ・腎・透析領域におきましては、「レミッチ(透析患者における経口そう痒症改善剤)」及び「リオナ錠(高リン血症治療剤)」が平成28年4月に実施された薬価改定において市場拡大再算定の影響を受けたものの、「レミッチ」は販売数量の伸長により9,828百万円と前年同期に比べ93百万円(0.9%)の減少にとどまり、「リオナ錠」は市場浸透・拡大に注力したことにより4,438百万円と前年同期に比べ417百万円(10.4%)増加しました。
- ・皮膚疾患領域におきましては、「アンテベート(外用副腎皮質ホルモン剤)」が4,559百万円と前年同期に比べ65百万円(1.4%)減少しました。
- ・アレルギー領域におきましては、アレルギー免疫療法の普及に注力したことにより「シダトレン スギ花粉舌下液(アレルギー免疫療法薬)」は883百万円と前年同期に比べ263百万円(42.4%)増加しました。
- ・HIV感染症領域におきましては、「ツルバダ配合錠(抗HIV薬)」が3,372百万円と前年同期に比べ5,979百万円(63.9%)減少しましたが、平成29年1月から販売を開始した後継品の「デシコビ配合錠(抗HIV薬)」は6,035百万円となりました。また、「スタリビルド配合錠(抗HIV薬)」が120百万円と前年同期に比べ2,118百万円(94.6%)減少しましたが、平成28年7月から販売を開始した後継品の「ゲンボイヤ配合錠(抗HIV薬)」は4,410百万円と前年同期に比べ3,740百万円(558.6%)増加しました。

費用面におきましては、売上原価は販売数量が伸長したことや販売品目の構成が変化したこと等により22,602百万円と前年同期に比べ745百万円(3.4%)増加し、販売費及び一般管理費は19,463百万円と前年同期に比べ126百万円(0.7%)増加しました。

以上の結果、営業利益は3,660百万円と前年同期に比べ1,085百万円(42.2%)増加し、経常利益は3,735百万円と前年同期に比べ1,021百万円(37.6%)増加しました。四半期純利益につきましては、2,771百万円と前年同期に比べ1,016百万円(57.9%)増加しました。

## (2) 財政状態

当第3四半期会計期間末の総資産は、100,362百万円と前事業年度末に比べ1,837百万円(1.9%)増加しました。これは、現金及び預金が5,197百万円、キャッシュ・マネージメント・システム預託金が2,015百万円減少しましたが、有価証券が9,000百万円増加したこと等によるものです。

負債につきましては、15,337百万円と前事業年度末に比べ368百万円(2.5%)増加しました。これは、流動負債のその他に含まれる未払金が826百万円減少しましたが、買掛金が1,125百万円増加したこと等によるものです。

純資産につきましては、85,025百万円と前事業年度末に比べ1,468百万円(1.8%)増加しました。これは、主に利益剰余金が1,425百万円増加したことによるものです。

## (3) 研究開発活動

当第3四半期累計期間の研究開発費の総額は3,516百万円です。

導入活動・研究(共同)開発活動の主な成果につきましては、以下のとおりです。

- ・東レ株式会社(以下、「東レ」)が製造販売承認を取得し、当社が日本国内において販売中の「レミッチ」(提携:日本たばこ産業株式会社(以下、「JT」))につきまして、東レは、平成29年9月に「腹膜透析患者におけるそう痒症の改善(既存治療で効果不十分な場合に限る)」を適応症とした効能追加に係る製造販売承認事項一部変更承認を取得しました。
- ・スギ花粉症に対するアレルギー免疫療法薬「シダキュア スギ花粉舌下錠」(開発番号:T0-206)につきまして、平成29年9月に日本国内における製造販売承認を取得しました。なお、本剤につきましては、平成29年11月の薬価収載を見送ることとしましたが、次回の薬価収載及び円滑な上市へ向けた努力を続けてまいります。
- ・JTが日本国内で臨床開発を実施しているHIF-PH阻害薬「JTZ-951」の腎性貧血を適応症とする経口剤につきまして、平成29年10月に日本国内における今後の共同開発及び販売に関する契約を締結しました。本剤の開発についてはJTと当社が行い、販売については当社が行うこととなります。

現時点における主な研究開発の状況につきましては、「2017年12月期第3四半期決算 参考資料」に記載しております。

## (4) 業績予想などの将来予測情報

通期の業績予想につきましては、前回発表(平成29年7月27日「平成29年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)」)の予想数値を以下のとおり修正しております。

	平成29年12月期 前回予想	平成29年12月期 修正予想	対前回予想 増減額	対前回予想 増減率	(参考) 平成28年12月期 実績
売上高(百万円)	63,100	63,100	—	—	60,206
営業利益(百万円)	5,300	5,000	△300	△5.7%	3,819
経常利益(百万円)	5,400	5,100	△300	△5.6%	3,999
当期純利益(百万円)	3,900	3,800	△100	△2.6%	2,839

売上高は、概ね計画のとおり進捗しており、前回予想からの変更はありません。

利益面につきましては、主に研究開発費の増加により、営業利益、経常利益、当期純利益ともに前回予想を下回る見通しとなりました。

なお、当期の配当金につきましては、1株当たり年間48円(中間配当金24円、期末配当金24円)を予定しており、前回予想からの変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成28年12月31日)	当第3四半期会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	22,393	17,196
キャッシュ・マネージメント・システム預託金	7,091	5,076
受取手形及び売掛金	26,560	26,321
有価証券	11,102	20,102
商品及び製品	6,330	6,448
仕掛品	603	560
原材料及び貯蔵品	3,673	3,386
その他	2,368	2,441
流動資産合計	80,123	81,533
固定資産		
有形固定資産	5,752	5,551
無形固定資産	896	820
投資その他の資産	11,752	12,456
固定資産合計	18,401	18,828
資産合計	98,525	100,362
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	6,698	7,824
未払法人税等	767	446
賞与引当金	676	1,359
役員賞与引当金	47	40
返品調整引当金	2	5
その他	5,119	3,966
流動負債合計	13,310	13,642
固定負債		
退職給付引当金	637	815
その他	1,020	879
固定負債合計	1,658	1,694
負債合計	14,969	15,337
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,190	5,190
資本剰余金	6,416	6,416
利益剰余金	72,866	74,292
自己株式	△1,478	△1,479
株主資本合計	82,993	84,418
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	558	598
評価・換算差額等合計	558	598
新株予約権	4	8
純資産合計	83,556	85,025
負債純資産合計	98,525	100,362

## (2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)
売上高	43,768	45,726
売上原価	21,857	22,602
売上総利益	21,911	23,123
販売費及び一般管理費		
販売促進費	3,552	3,560
給料及び手当	4,365	4,365
賞与引当金繰入額	1,134	1,148
研究開発費	3,577	3,516
その他	6,705	6,872
販売費及び一般管理費合計	19,337	19,463
営業利益	2,574	3,660
営業外収益		
受取利息	34	19
受取配当金	12	11
為替差益	38	—
保険配当金	24	24
その他	31	31
営業外収益合計	140	86
営業外費用		
支払利息	0	0
為替差損	—	10
その他	1	1
営業外費用合計	1	12
経常利益	2,713	3,735
特別損失		
固定資産除却損	17	20
特別損失合計	17	20
税引前四半期純利益	2,696	3,714
法人税等	941	942
四半期純利益	1,755	2,771

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期会計期間から適用しております。



# 2017年12月期 第3四半期決算 参考資料

I サマリー情報	P.1
① 経営成績	P.1
② 財政状態	P.1
II 2017年12月期 第3四半期実績	P.2
① 四半期損益計算書	P.2
② 製商品別売上高	P.4
③ 四半期貸借対照表	P.5
④ 設備投資の状況	P.6
⑤ 非資金項目	P.6
⑥ 研究開発の状況	P.6
III 2017年12月期 業績予想	P.7
① 損益計算書	P.7
② 製商品別売上高	P.9
③ 設備投資の状況	P.10
④ 非資金項目	P.10
⑤ 配当	P.10
【将来に関する記述等についてのご注意】	P.10

※ 本資料は累計期間に係る情報を掲載しており、百万円未満を切捨てして表示しております。

2017年10月26日



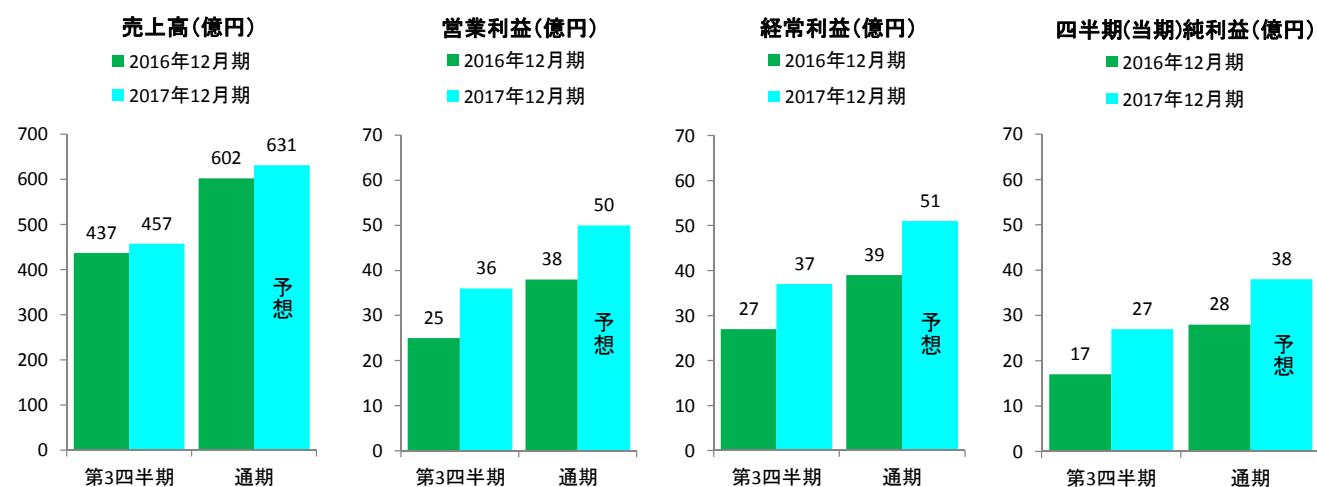
鳥居薬品株式会社

# I サマリー情報

## ① 経営成績

2017年12月期 業績予想については、前回発表（2017年7月27日「平成29年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）」）の予想数値を修正しております。

(単位:百万円)	2016年12月期 第3四半期 A	2017年12月期 第3四半期 B	増減 B-A	増減率 (%) (B-A)/A	2016年12月期 実績	2017年12月期 修正予想 C	対予想 進捗率(%) B/C
売上高	43,768	45,726	1,957	4.5	60,206	63,100	72.5
営業利益	2,574	3,660	1,085	42.2	3,819	5,000	73.2
経常利益	2,713	3,735	1,021	37.6	3,999	5,100	73.2
四半期(当期)純利益	1,755	2,771	1,016	57.9	2,839	3,800	72.9
(参考)							
研究開発費	3,577	3,516	△60	△1.7	4,654	4,880	72.1
1株当たり四半期(当期) 純利益(EPS) (円)	62.04	98.83	36.79		100.41	135.48	
自己資本四半期(当期) 純利益率(ROE) (%)	2.1	3.3	1.2		3.4	—	
総資産経常利益率 (%)	2.8	3.8	1.0		4.1	—	
売上高営業利益率 (%)	5.9	8.0	2.1		6.3	—	
総資産四半期(当期) 純利益率(ROA) (%)	1.8	2.8	1.0		2.9	—	



## ② 財政状態

(単位:百万円)	2016年12月期 A	2017年12月期 第3四半期 B	増減 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
総資産	98,525	100,362	1,837	1.9
純資産	83,556	85,025	1,468	1.8
自己資本比率 (%)	84.8	84.7	△0.1	
1株当たり純資産(BPS) (円)	2,978.80	3,031.04	52.24	

## Ⅱ 2017年12月期 第3四半期実績

### ① 四半期損益計算書

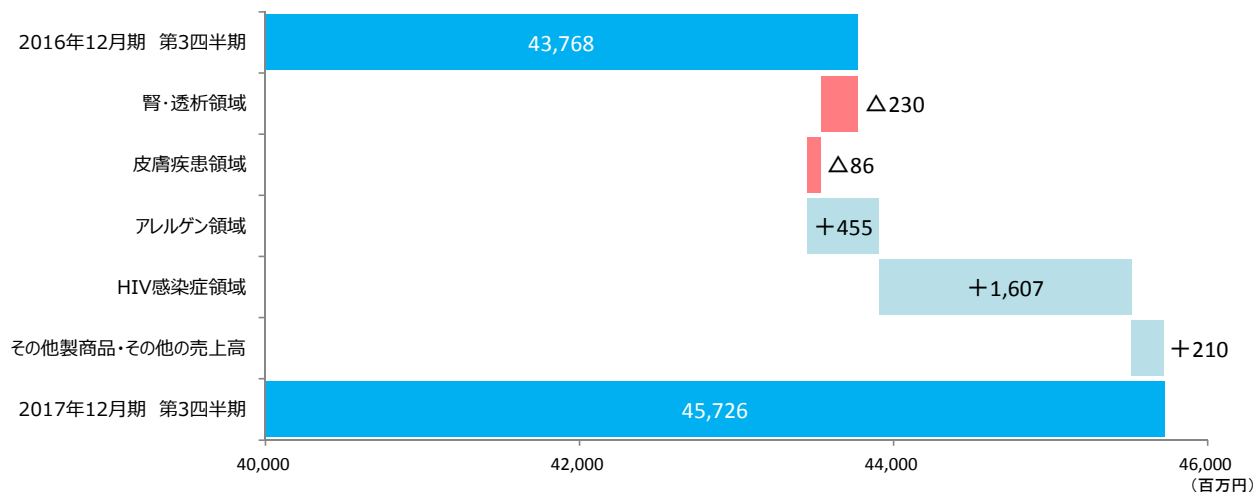
(単位:百万円)	2016年12月期	2017年12月期	増減額	増減率 (%)
	第3四半期	第3四半期		
	A	B	B-A	(B-A)/A
売上高	43,768	45,726	1,957	4.5
製商品売上高	43,329	44,930	1,600	3.7
腎・透析領域	18,226	17,995	△230	△1.3
皮膚疾患領域	7,321	7,235	△86	△1.2
アレルギー領域	982	1,437	455	46.4
HIV感染症領域	12,435	14,043	1,607	12.9
その他	4,364	4,218	△145	△3.3
その他の売上高	439	795	356	81.2
売上原価	21,857	22,602	745	3.4
製商品売上原価	21,807	22,561	754	3.5
その他の原価	49	40	△9	△18.8
売上総利益	21,911	23,123	1,211	5.5
販売費及び一般管理費	19,337	19,463	126	0.7
販管費(研究開発費除く)	15,759	15,946	186	1.2
研究開発費	3,577	3,516	△60	△1.7
営業利益	2,574	3,660	1,085	42.2
営業外収益	140	86	△53	-
営業外費用	1	12	10	-
経常利益	2,713	3,735	1,021	37.6
特別損失	17	20	3	-
税引前四半期純利益	2,696	3,714	1,017	37.7
法人税等	941	942	1	-
四半期純利益	1,755	2,771	1,016	57.9

(参考) 売上高に対する比率

(単位:%)	2016年12月期	2017年12月期	増減
	第3四半期	第3四半期	
	A	B	B-A
売上原価	49.9	49.4	△0.5
販売費及び一般管理費	44.2	42.6	△1.6
研究開発費	8.2	7.7	△0.5
営業利益	5.9	8.0	2.1
経常利益	6.2	8.2	2.0
四半期純利益	4.0	6.1	2.1

【対前年同期増減要因】

売上高（45,726百万円 対前年同期+1,957百万円）

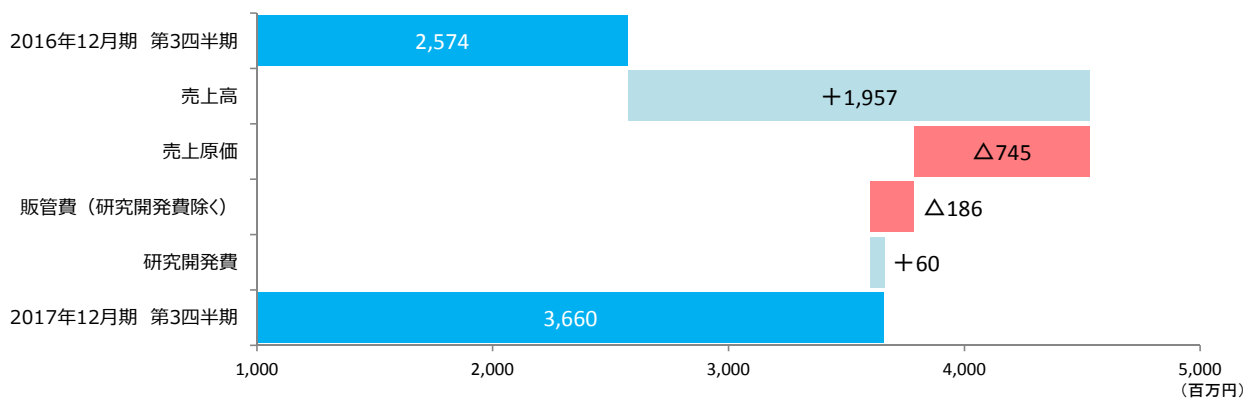


主な増減要因

腎・透析領域	：注射用フサン	△326百万円	、	コリノーム錠	△163百万円
	：リオナ錠	+417百万円			
アレルギー領域	：シダトレン スギ花粉舌下液	+263百万円			
HIV感染症領域	：デシコピ配合錠	+6,035百万円	、	ゲンボイヤ配合錠	+3,740百万円
	：ツルバダ配合錠	△5,979百万円	、	スタビルド配合錠	△2,118百万円

※詳細はP.4「② 製商品別売上高」を参照

営業利益（3,660百万円 対前年同期+1,085百万円）



主な増減要因

売上原価：販売数量の伸長による増加、販売品目の構成変化による増加

経常利益（3,735百万円 対前年同期+1,021百万円）

特記事項：特になし

四半期純利益（2,771百万円 対前年同期+1,016百万円）

特記事項：特になし

## ② 製商品別売上高

(単位:百万円)	2016年12月期 第3四半期 A	2017年12月期 第3四半期 B	増減額 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
製商品売上高	43,329	44,930	1,600	3.7
レミッチ	9,921	9,828	△93	△0.9
経口そう痒症改善剤 [腎・透析領域]				
デシコビ配合錠 ※3	—	6,035	6,035	—
抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) [HIV感染症領域]				
アンテベート ※1	4,625	4,559	△65	△1.4
外用副腎皮質ホルモン剤 [皮膚疾患領域]				
リオナ錠	4,021	4,438	417	10.4
高リン血症治療剤 [腎・透析領域]				
ゲンボイヤ配合錠 ※2	669	4,410	3,740	558.6
抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) [HIV感染症領域]				
ツルバダ配合錠	9,351	3,372	△5,979	△63.9
抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) [HIV感染症領域]				
ビオスリー	1,765	1,824	59	3.4
活性生菌製剤(整腸剤) [その他]				
ケイキサレート ※1	1,605	1,540	△64	△4.0
高カリウム血症改善剤 [腎・透析領域]				
注射用フサン ※1	1,762	1,435	△326	△18.5
蛋白分解酵素阻害剤 [腎・透析領域]				
ゼフナート	993	1,107	114	11.5
抗真菌薬 [皮膚疾患領域]				
ロコイド ※1	1,011	1,030	18	1.8
外用副腎皮質ホルモン剤 [皮膚疾患領域]				
シダトレン スギ花粉舌下液 ※1	620	883	263	42.4
スギ花粉症のアレルゲン免疫療法薬 [アレルゲン領域]				
マグセント	822	789	△33	△4.0
切迫早産における子宮収縮抑制剤 子癇の発症抑制・治療剤 [その他]				
ユリノーム錠 ※1	915	752	△163	△17.8
尿酸排泄薬(高尿酸血症治療剤) [腎・透析領域]				
スタビルド配合錠	2,239	120	△2,118	△94.6
抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) [HIV感染症領域]				
その他製商品	3,003	2,802	△201	△6.7

※1 自社品

※2 「ゲンボイヤ配合錠」は、2016年7月に販売を開始しております。

※3 「デシコビ配合錠」は、2017年1月に販売を開始しております。

### (参考) 自社品売上高及び自社品比率

(単位:百万円)	2016年12月期 第3四半期 A	2017年12月期 第3四半期 B	増減 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
自社品売上高	11,897	11,659	△237	△2.0
自社品比率 (%)	27.5	26.0	△1.5	—

③ 四半期貸借対照表

(単位:百万円)	2016年12月期	2017年12月期	増減額	増減率 (%)	構成比 (%)
	A	第3四半期 B			
流動資産	80,123	81,533	1,409	1.8	81.2
現金及び預金	22,393	17,196	△5,197		
キャッシュ・マネジメント・システム預託金	7,091	5,076	△2,015		
受取手形及び売掛金	26,560	26,321	△239		
有価証券	11,102	20,102	9,000		
たな卸資産	10,606	10,395	△211		
その他	2,368	2,441	73		
固定資産	18,401	18,828	427	2.3	18.8
有形固定資産	5,752	5,551	△200		
無形固定資産	896	820	△76		
投資その他の資産	11,752	12,456	704		
投資有価証券	3,877	5,178	1,301		
長期前払費用	6,486	5,914	△571		
その他	1,389	1,363	△25		
資産合計	98,525	100,362	1,837	1.9	100.0
流動負債	13,310	13,642	332	2.5	13.6
買掛金	6,698	7,824	1,125		
未払金	3,178	2,351	△826		
未払法人税等	767	446	△320		
賞与引当金	676	1,359	683		
その他	1,990	1,660	△330		
固定負債	1,658	1,694	36	2.2	1.7
負債合計	14,969	15,337	368	2.5	15.3
株主資本	82,993	84,418	1,425	1.7	84.1
評価・換算差額等	558	598	39	7.1	0.6
新株予約権	4	8	3	88.6	0.0
純資産合計	83,556	85,025	1,468	1.8	84.7
負債純資産合計	98,525	100,362	1,837	1.9	100.0

主な増減要因

(流動資産)

有価証券 : 債券、金銭信託及び譲渡性預金の取得による増加

(固定資産)

投資有価証券 : 債券の取得による増加、有価証券への振替による減少

長期前払費用 : 販売権の償却による減少

(流動負債)

買掛金 : 商品仕入の増加による増加

#### ④ 設備投資の状況

(単位:百万円)	2016年12月期	2017年12月期	増減額	増減率 (%) (B-A)/A
	第3四半期	第3四半期		
	A	B		
設備投資額	601	650	48	8.1
有形固定資産	420	506	86	20.5
無形固定資産	181	144	△37	△20.5

#### 当期の設備投資の内容

有形固定資産：主に生産能力の維持向上を目的とする製造設備への投資  
 無形固定資産：業務の効率化等を目的とするソフトウェアへの投資

#### ⑤ 非資金項目

(単位:百万円)	2016年12月期	2017年12月期	増減額	増減率 (%) (B-A)/A
	第3四半期	第3四半期		
	A	B		
減価償却費	1,000	889	△110	△11.1
長期前払費用償却費	759	793	34	4.5

#### ⑥ 研究開発の状況

開発番号 「製品名」	予定適応症等	剤形等	開発段階 (国内)					備考
			Phase I	Phase II	Phase III	申請	承認	
<b>腎・透析領域</b>								
JTT-751 「リオナ錠」	鉄欠乏性貧血	経口剤		Phase II				・Keryx Biopharmaceuticals, Inc.と日本における独占的開発・商業化権に関するライセンス契約を締結 ・日本たばこ産業(株)との共同開発 (適応追加) ・日本たばこ産業(株)が2014年1月に高リン血症治療剤として製造販売承認を取得し、当社より販売中
<b>皮膚疾患領域</b>								
JTE-052	アトピー性皮膚炎	外用剤			Phase III			・日本たばこ産業(株)創製化合物 ・日本たばこ産業(株)と日本における共同開発及び販売に関するライセンス契約を締結
	小児アトピー性皮膚炎	外用剤			Phase II			・日本たばこ産業(株)創製化合物 ・日本たばこ産業(株)と日本における共同開発及び販売に関するライセンス契約を締結
<b>アレルギー領域</b>								
TO-203 「ミテキュア タニ舌下錠」	室内塵ダニアレルギー疾患 (アレルギー性喘息) (アレルギー免疫療法薬)	舌下錠			Phase II / III 終了※			・ALK-Abelló A/Sと日本における独占的開発・販売権に関するライセンス契約を締結 ・自社開発 ※今後の開発方針について検討中
	室内塵ダニアレルギー疾患 (小児アレルギー性鼻炎) (アレルギー免疫療法薬)	舌下錠				申請		・ALK-Abelló A/Sと日本における独占的開発・販売権に関するライセンス契約を締結 ・自社開発 ・2017年3月に製造販売承認申請
TO-206 「シダキュア スギ花粉舌下錠」	スギ花粉症 (アレルギー免疫療法薬)	舌下錠					承認	・自社開発 ・2017年9月に製造販売承認取得

前回公表時 (2017年7月27日) からの変更点

・TO-206「シダキュア スギ花粉舌下錠」の国内製造販売承認取得

上記のほか、以下の契約を締結しております。

・2016年8月 Menlo Therapeutics, Inc.が開発を進めているニューロキニン1 (NK-1) 受容体アンタゴニスト (国際一般名: serlopitant) の日本における独占的開発・商業化権に関するライセンス契約 (日本たばこ産業(株)との共同開発)

・2017年10月 日本たばこ産業(株)が日本国内での臨床開発を実施しているHIF-PH阻害薬「JTZ-951」の腎性貧血を適応症とする経口剤について、日本における共同開発及び販売に関する契約 (日本たばこ産業(株)との共同開発)

(参考)

2017年10月に日本たばこ産業(株)が、EirGen Pharma Limitedと慢性腎臓病患者における二次性副甲状腺機能亢進症 (SHPT) 治療薬であるcalcifediol徐放製剤 (米国での販売名「RAYALDEE®」、OPKO Health, Inc.が開発及び販売) について、日本における独占的開発・商業化権に関するライセンス契約を締結した旨、また、製造販売承認取得後の販売については、当社が行う予定である旨、公表しております。

### Ⅲ 2017年12月期 業績予想

2017年12月期 業績予想については、前回発表（2017年7月27日「平成29年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）」）の予想数値を修正しております。

#### ① 損益計算書

(単位:百万円)	2017年12月期	2017年12月期	修正額	2016年12月期	増減額	増減率 (%) (B-C)/C
	前回予想 A	修正予想 B		実績 C		
売上高	63,100	63,100	—	60,206	2,893	4.8
製商品売上高	62,100	62,080	△20	59,620	2,459	4.1
腎・透析領域	25,260	24,840	△420	25,141	△301	△1.2
皮膚疾患領域	9,600	9,640	40	9,811	△171	△1.8
アレルギー領域	2,000	2,070	70	1,485	584	39.3
HIV感染症領域	19,410	19,700	290	17,225	2,474	14.4
その他	5,830	5,830	—	5,956	△126	△2.1
その他の売上高	1,000	1,020	20	586	433	74.0
売上原価	30,800	30,900	100	30,287	612	2.0
売上総利益	32,300	32,200	△100	29,919	2,280	7.6
販売費及び一般管理費	27,000	27,200	200	26,099	1,100	4.2
販管費（研究開発費除く）	22,330	22,320	△10	21,445	874	4.1
研究開発費	4,670	4,880	210	4,654	225	4.9
営業利益	5,300	5,000	△300	3,819	1,180	30.9
経常利益	5,400	5,100	△300	3,999	1,100	27.5
当期純利益	3,900	3,800	△100	2,839	960	33.8

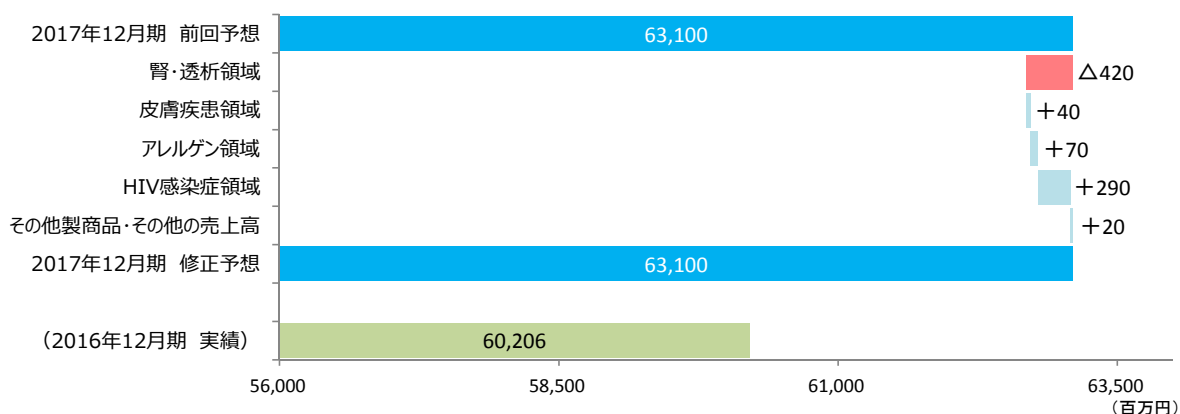
(参考) 売上高に対する比率

(単位:%)	2017年12月期	2017年12月期	増減	2016年12月期	増減
	前回予想 A	修正予想 B		実績 C	
売上原価	48.8	49.0	0.2	50.3	△1.3
販売費及び一般管理費	42.8	43.1	0.3	43.4	△0.3
研究開発費	7.4	7.7	0.3	7.7	0.0
営業利益	8.4	7.9	△0.5	6.3	1.6
経常利益	8.6	8.1	△0.5	6.6	1.5
当期純利益	6.2	6.0	△0.2	4.7	1.3



## 【2017年12月期 対前回予想増減要因】

### 売上高（63,100百万円 対前回予想変更なし）

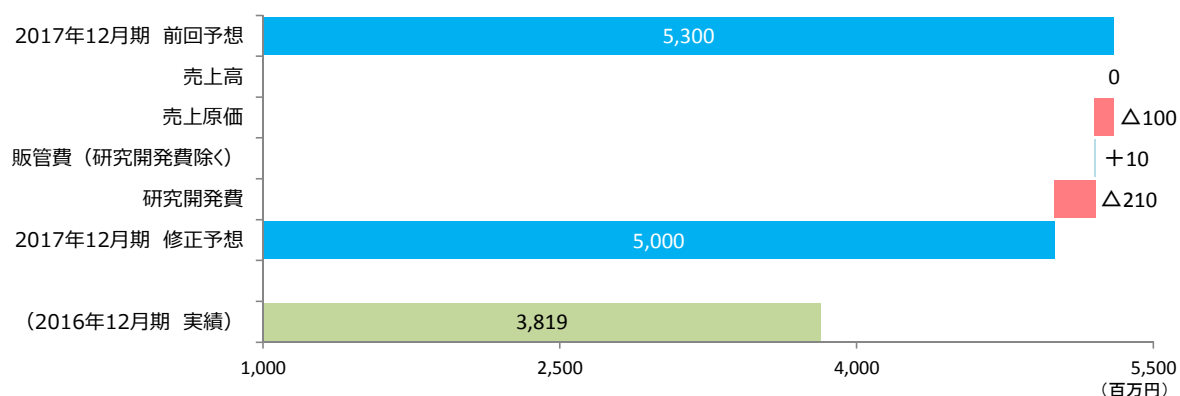


#### 主な増減要因

腎・透析領域	: レミッチ	△500百万円	
HIV感染症領域	: デシコビ配合錠	+580百万円	、ゲンボイヤ配合錠 +190百万円
	: ツルバダ配合錠	△450百万円	

※詳細はP.9「② 製商品別売上高」を参照

### 営業利益（5,000百万円 対前回予想△300百万円）



#### 主な増減要因

研究開発費	: 共同開発費用（JTE-052）の増加
-------	----------------------

### 経常利益（5,100百万円 対前回予想△300百万円）

特記事項：特になし

### 当期純利益（3,800百万円 対前回予想△100百万円）

特記事項：特になし

## ② 製商品別売上高

(単位: 百万円)	2017年12月期 前回予想 A	2017年12月期 修正予想 B	修正額 B-A	2016年12月期 実績 C	増減額 B-C	増減率 (%) (B-C)/C
製商品売上高	62,100	62,080	△20	59,620	2,459	4.1
レミッチ	13,950	13,450	△500	13,645	△195	△1.4
経口そう痒症改善剤 [腎・透析領域]						
デシコビ配合錠 ※3	8,980	9,560	580	-	9,560	-
抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) [HIV感染症領域]						
リオナ錠	6,240	6,310	70	5,634	675	12.0
高リン血症治療剤 [腎・透析領域]						
アンテベート ※1	6,200	6,200	-	6,277	△77	△1.2
外用副腎皮質ホルモン剤 [皮膚疾患領域]						
ゲンボイヤ配合錠 ※2	5,830	6,020	190	1,865	4,154	222.7
抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) [HIV感染症領域]						
ツルバダ配合錠	4,280	3,830	△450	12,754	△8,924	△70.0
抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) [HIV感染症領域]						
ピオスリー	2,460	2,510	50	2,455	54	2.2
活性生菌製剤(整腸剤) [その他]						
ケイキサレート ※1	2,090	2,100	10	2,178	△78	△3.6
高カリウム血症改善剤 [腎・透析領域]						
注射用フサン ※1	1,980	1,980	-	2,462	△482	△19.6
蛋白分解酵素阻害剤 [腎・透析領域]						
ロコイド ※1	1,380	1,380	-	1,352	27	2.0
外用副腎皮質ホルモン剤 [皮膚疾患領域]						
ゼフナート	1,300	1,340	40	1,275	64	5.0
抗真菌薬 [皮膚疾患領域]						
シダトレン スギ花粉舌下液 ※1	1,200	1,220	20	937	282	30.1
スギ花粉症のアレルゲン免疫療法薬 [アレルゲン領域]						
マグセント	1,150	1,120	△30	1,165	△45	△3.9
切迫早産における子宮収縮抑制剤 子癇の発症抑制・治療剤 [その他]						
ユリノーム錠 ※1	1,000	1,000	-	1,219	△219	△18.0
尿酸排泄薬(高尿酸血症治療剤) [腎・透析領域]						
スタリビルド配合錠	140	130	△10	2,371	△2,241	△94.5
抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) [HIV感染症領域]						
その他製商品	3,920	3,930	10	4,023	△93	△2.3

※1 自社品

※2 「ゲンボイヤ配合錠」は、2016年7月に販売を開始しております。

※3 「デシコビ配合錠」は、2017年1月に販売を開始しております。

### (参考) 自社品売上高及び自社品比率

(単位: 百万円)	2017年12月期 前回予想 A	2017年12月期 修正予想 B	修正額(率) B-A	2016年12月期 実績 C	増減 B-C	増減率 (%) (B-C)/C
自社品売上高	16,000	16,050	50	16,316	△266	△1.6
自社品比率 (%)	25.8	25.9	0.1	27.4	△1.5	-

### ③ 設備投資の状況

(単位:百万円)	2017年12月期 前回予想 A	2017年12月期 修正予想 B	修正額 B-A	2016年12月期 実績 C	増減額 B-C	増減率 (%) (B-C)/C
設備投資額	1,257	1,078	△179	891	186	20.9
有形固定資産	959	801	△158	644	156	24.2
無形固定資産	298	277	△21	246	30	12.1

#### 設備投資の内容

有形固定資産：主に生産能力の維持向上を目的とする製造設備への投資  
 無形固定資産：業務の効率化等を目的とするソフトウェアへの投資

### ④ 非資金項目

(単位:百万円)	2017年12月期 前回予想 A	2017年12月期 修正予想 B	修正額 B-A	2016年12月期 実績 C	増減額 B-C	増減率 (%) (B-C)/C
減価償却費	1,180	1,175	△5	1,339	△164	△12.3
長期前払費用償却費	1,059	1,062	3	1,018	43	4.2

### ⑤ 配当

	2017年12月期 前回予想 A	2017年12月期 修正予想 B	修正額(率) B-A	2016年12月期 実績 C	増減 B-C	増減率 (%) (B-C)/C
1株当たり配当金 (円)	48	48	0	48	0	0.0
配当性向 (%)	34.5	35.4	0.9	47.8	△12.4	-

#### 【将来に関する記述等についてのご注意】

本資料に記載しております業績見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、リスクや不確実な要素を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。したがって、実際の業績等は、様々な要素により、これらの業績見通し等とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果に関わらず、常に当社が、将来の見直しを見直すとは限りません。なお、現時点において、実際の業績等に影響を与えるリスクや不確実な要素としては、以下のような事項を挙げることができます。(かかるリスクや不確実な要素はこれらの事項に限定されるものではありません。)

- ◇ 医薬品医療機器法その他の法令又は規制の変化
- ◇ 副作用の発現
- ◇ 研究開発の遅延又は中止
- ◇ 製商品の供給停止、回収
- ◇ 薬価の決定、改定
- ◇ 訴訟の提起